

## LPガスCP情報(2014年5月積み)

### 1. 5月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **810** <sup>ドル</sup> (前月比 +40 <sup>ドル</sup>)

ブタン **825** <sup>ドル</sup> (前月比 -20 <sup>ドル</sup>)

#### ① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、需要期明けで閑散、前半は5月積みアクセプタンス待ちの様子見、中旬以降はフレートの急騰によりスポット市場は売買が限定的なものとなった。CP先物指標は第3週まで続落したが、第4週に急反騰、プロパン5月限は800 <sup>ドル</sup> どころで推移した。先物市況はバックワーデーション(期先安)からコンタンゴ(期先高)に転じている。極東CFR市況は第4週末でプロパン930 <sup>ドル</sup>、ブタン945 <sup>ドル</sup>、フレートが船舶需給逼迫で123 <sup>ドル</sup> 台に急騰し、CFRは大幅に上昇した。ナフサは原油高で強基調、965 <sup>ドル</sup> まで上げており、ブタン下支え。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン4.5ポイント上昇、ブタン2.5ポイントの下落、前年同月比ではプロパン6、ブタン3ポイント高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	109	118	126	137	123
CP先物指標:P	783	763	754	801	775
CP先物指標:B	818	778	769	816	795

#### ② 原油市況等

原油市況をみると、4月WTIは99 <sup>ドル</sup> 台後半始まったが、ウクライナ情勢の緊迫化が下支えして3日以降は100 <sup>ドル</sup> 台を維持した。クッシングの在庫が減少していることも買い材料で5月にはエンタープライズ社の「シーウェイパイプライン」(クッシング～テキサス)の能力が増強され更に在庫は減少する見込み。リビアの輸出港再開を巡り揺れたブレントとの格差も縮小した。ただ、米原油生産量は1988年1月以来の高水準で原油在庫はEIA統計の過去最高を更新しWTIも上値が重い展開となった。米国の景気楽観論と中国景気減速懸念は強弱それぞれの要因となっている一方、先物市場は投機資金が再び流入、22日時点の大口投機玉の買い越しは41万枚と最高水準に迫っている。

○4月積みアラビアンライト(4月1~30日)は106.355 <sup>ドル</sup> (前月比+0.277 <sup>ドル</sup>)

熱量等価AL100% プロパン 872.00 <sup>ドル</sup>/トン ブタン 860.04 <sup>ドル</sup>/トン

AL比 プロパン 92.89% ブタン 95.93%

### 2. 2014年5~6月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日①	103.44	83,786	85,338	+4,200	-2,000
26~25日②	103.55	81,800	86,500	-2,100	-2,000
1~30日③	103.58	81,800	86,500	-2,100	-2,100

\*TTS平均は①が4月16日~4月30日まで、②は3月26日~4月25日

③は4月1~30日、①は6月仕切への影響、②~③は5月仕切適用。②、③は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。